

# 宮の風

宮校区社会福祉協議会だより

第30号 令和2年2月20日発行



威勢よく燃え上り垣  
もびっくりして逃げだし  
たみたいでした。



「宮小」が存続することを念じます。」



く「宮小」が存続することを念じます。」

くまでも私見ですが、学校を存続するためには、学校  
と地域の結びつきを一層強固にしないと生き残れな  
いと危惧するところです。私の思いは、ひとつ、末永  
が作って下さった料理を頂きながら、素敵な行事に参加  
の時代の中で、学校適正化規模の話題があります。あ  
最後に奥深の課題として、一層進むであらう少子化  
深い学校で、すぐ親近感が湧いてきたことです。  
二つ目は、私自身がお世話になつた方々と大変縁の  
に燃え上り、「バチ」と音を  
くる新1年生の子供たちが、火を点けると、火が盛大  
大切なのはと思っています。各集落や校区社協・コミュ  
ニティ協議会の行事により多くの皆さんに参加して頂いて  
立てる燃え上る構がとても美しかったです。地域の方  
皆様に色々な活動に参加して頂き地元で楽しめること  
ができます。私が健康で楽しい一年を過ごしていくべきです。

令和二年も健康で楽しい一年を過ごしていくべきです。  
ドバイザーアクションゴルフ等のふれあい活動・敬  
行事に対する宮コミュニティの協力態勢が大変素晴らしいです。  
これまで勤務させていたいた中でも学校行事や地域  
を付けたら、どんな風になるのだろうとドキドキします。  
から寝められること」「人の役に立つこと」と言われていて  
大きな構が目に飛び込んできて驚きました。この構に火  
には響くようになつてきました。  
時は「人に愛される」と「人から必要とされる」と「人  
に響くようになつてきました。  
鬼火焚きが行われる田んぼに行つてみると、とても  
鬼火焚きとは、大構を焼いて、悪霊を追い払う行事で  
け合うこと」と言われています。また、人が幸せを感じ  
かを自問自答してきた私の「思い」。しかししながら、  
創立140周年の記念すべき年に本校に着任したのも  
なく、「鬼火焚きは、何のために、どんなことをする  
のだろう」と思っていました。

今

「みんなで助け合って幸せになろう」

まだ寒さが続いているが、皆様にはご健勝の事と思  
います。

私は、1月7日の宮校区鬼火焚きに参加しました。

これまでに鬼火焚きに参加したことはおろか、見たこと

もなく、「鬼火焚きは、何のために、どんなことをする

のだろう」と思っていました。

「がらに明け行く」に始まる宮小校歌。なぜ私が、

これまでに鬼火焚きに参加したこととはおろか、見たこと

もなく、「鬼火焚きは、何のために、どんなことをする

のだろう」と思っていました。

かを自問自答してきた私の「思い」。しかししながら、  
創立140周年の記念すべき年に本校に着任したのも  
なく、「鬼火焚きは、何のために、どんなことをする

のだろう」と思っていました。

私は、1月7日の宮校区鬼火焚きに参加しました。

これまでに鬼火焚きに参加したこととはおろか、見たこと

もなく、「鬼火焚きは、何のために、どんなことをする

のだろう」と思いました。

かを自問自答してきた私の「思い」。しかししながら、  
創立140周年の記念すべき年に本校に着任したのも  
なく、「鬼火焚きは、何のために、どんなことをする

のだろう」と思いました。

私は、1月7日の宮校区鬼火焚きに参加しました。

これまでに鬼火焚きに参加したこととはおろか、見たこと

もなく、「鬼火焚きは、何のために、どんなことをする

のだろう」と思いました。

かを自問自答してきた私の「思い」。しかししながら、  
創立140周年の記念すべき年に本校に着任したのも<br